

全日本小学校HP大賞

南部小(江壽)が県代表に

学校生活いきいきと

寒河江市の南部小(安食洋一校長、三百四十八人)が全日本小学校ホームページ大賞(J-K-I-D S大賞)の県代表に決まり、同校で十四日、表彰状贈呈式が行われた。

同大賞は、J-K-I-D S大賞実行委員会(委員長・村井純慶彦義塾大環境情報学部教授)が主催して二〇〇三年から設けており、情報教育の推進インターネットの普及に貢献することが目的。一万七千七百七校のホームページを全国のボランティア千七百七十三人が審査し、都道府県や特殊教育諸学校、在外日本人学校、

特別推薦校の各代表計五十校を選んだ。

紹介している。

南部小は、二〇〇一年三月にホームページを開設。東北芸術工科大メデア環境研究室などのワークショップグループが開発したホームページ作成プログラム「フッシュコーン」を使用している。ほぼ毎日更新している児童のブログ(日記風サイト)などを通し、学校生活を

紹介している。今回の審査では▽学校行事や各学年の生活の様子が多くの画像で紹介されている▽子どもたちの生き生きとした様子が伝わる写真が多く、

見ていると非常に楽しい▽全校テストをPDFファイルで掲載し、家庭で復習できるようにしている一との評価を受けた。

この日は、実行委事務局を務める損保ジャパンの門馬千秋山形支店長が同校を訪れ、安食校長に表彰状を手渡し、「ほのぼのとした優しさが感じられるホームページです」と講評。ホームページ担当の鈴木伸治教諭は「ホームページを通して学校生活を知り、家族のたんらんが深まってほしい」と話していた。

いた。今後、実行委から選考協議を行って大賞、

文部科学大臣賞などを決める。十一月中旬に表彰す



県代表となった南部小のホームページは、児童が書き込むブログも魅力の一つ

寒河江市・南部小